

Q1		鎮静下で胃カメラ検査を受けることができますか。
	A1	当院の人間ドックでは鎮静剤を使用しての胃カメラ検査は行っておりません。 鎮静薬を使用すると、意識がぼんやりしたり眠ったような状態となり検査の苦痛を減らすことができる一方で、血圧が下がったり、呼吸が弱くなったりする場合があります。また検査終了後に薬の効果がなくなりはっきり覚醒するまで休んでいただく必要があり、当日車を運転して帰ることはできません。当院は車で来院される方やドックで胃カメラ検査を受ける方が多く、目覚めるまで休んでいただく十分なベッドやスペースを確保できないこともあり、鎮静剤を使用しての胃カメラ検査は行っておりません。
Q2		ドックの結果はどのようにしてわかりますか。
	A2	最終的な報告書はドックから2-3週間後に郵送されます。 血液検査や胸部X線、心電図や胃カメラなど検査の多くは、当日検査後に医師から説明があります。画像検査は後日専門医が読影したりカンファレンスで検討されたりするため、ドック当日の説明内容と異なる結果や判定がなされる場合があります。報告書に記載された内容が最終報告ですが、ご不明な点がある場合は健康医学センターにお問い合わせください。
Q3		ドックで問題があった場合はどのようにすればいいですか。
	A3	報告書に要精密検査と記載された場合は、報告書と一緒に紹介状が郵送されます。浜の町病院を受診される場合は、平日の8時から11時の間に紹介状、人間ドックの報告書、保険証を持って新患受付にお越しください。かかりつけ医がある場合は、人間ドックの報告書をかかりつけの先生にお見せになり、指示に従ってください。
Q4		ドック当日は服薬してきてもいいですか。
	A4	当日の服薬については、事前にかかりつけの主治医にご確認ください。高血圧の薬、心臓の薬（不整脈、狭心症など）、脳梗塞の薬、喘息の薬（内服・吸入）など、ドックの検査を安全に受けるために主治医が必要と認める薬は早朝に内服してきてください。糖尿病の薬（インスリンや血糖降下薬）は使用せずに来院してください。
Q5		ドックが近いのですが風邪様の症状があります。
	A5	ドック前に発熱や風邪様の症状がある場合は、感染拡大防止の観点から受診日の変更をお願いしています。また、体調が悪い状態でドックを受けると普段の体の調子が反映されず、再検査や精密検査となってしまう場合があります。ドックは体調のいい時に受けるようにしましょう。
Q6		ドック前は激しい運動は控えた方がいいですか。
	A6	ドック前1週間程度は激しい運動を避けるようにしましょう。マラソンや空手の試合など、筋肉のダメージを伴う激しい運動の後には、検査データに影響を受ける場合があります。
Q7		生理の時はどうすればいいですか。
	A7	生理中の方は、尿・便検査および婦人科検査の結果に影響があるため受診日の変更をお願いします。